



富士市から訪れた佐藤弘和さん、富永美幸さん。ほのかな灯りが、二人の心を温かくします。



高らかな歌声がホールいっぱいに響き渡りました。本川根小学校4から6年生。曲は「歌よ、ありがとう」。

this month
HighLight

今月の注目

4

寸又峡温泉秋の風物詩は、紅葉染まる山々と和紙のあかり展。

和紙の灯りに染まる夜 寸又峡・秋の風物詩始まる

寸又峡温泉の秋の風物詩として定着しつつある和紙のあかり展。

5年目を迎える今年は、10月15日から始まりまし。

ほのかなあかりと温泉街の風情が、道行く人々の心を和ませます。

和紙のあかり展in寸又峡実行委員会主催の『和紙のあかり展』が10月15日から始まりまし。

15日夕方に開かれたオープニングセレモニーでは、望月孝之委員長が「平成18年から始まったあかり展も5年目を迎えました。今年は県内はもちろん、東京、神奈川など県外からもたくさんのお品があり、大変ありがたく思っています。お客さんが何度も足を運びたくなる、お客さんと地元の人と一緒に通うおもてなしを今後していきたい。寸又峡の初秋の風物詩として、このあかり展が定着しつつあることを喜んでいきます」とあいさつしました。

来賓として招かれた佐藤町長は「寸又峡の存在感を示すため、こういった企画は継続することが何よりも大切です。経済状態の悪化で誘客の減っている現在ですが、それでも歯を食いしばって頑張っている寸又峡の皆さんを、町は今後も応援していきます」と祝福のメッセージを送りました。6時30分、来場者のカウ



トダウンで点灯された作品の数は約200点にのぼります。あかり作品に見入っていた佐藤弘和さん（富士市）、富永美幸さん（富士宮市）は、「今日は日帰りで来ました。寸又峡は以前から知っていて、夢の吊り橋を渡ったこともありまし。きれいなあかりを楽しんでいます」と楽しそうに話していました。

見事な出来栄の作品を見つめる浴衣姿の宿泊客。

this month
HighLight

今月の注目

3

どの子も口をいっぱいに広げ、高らかな歌声をホールに響かせまし。

心で奏でるハーモニー 小学生が合唱と合奏の競演

各小学校では、北地域小学校音楽発表会に向け熱心に練習を重ねてまし。

当日を迎えた子どもたちは、少し緊張した表情を浮かべていましたが、

それでも、一生懸命心を込めて歌いきりました。拍手。

練習の成果を見せる

町内4つの小学校の児童（4から6年）が集い、歌声や合奏を披露する「平成22年度北地域小学校音楽発表会」は10月7日、文化会館ホールで開かれました。

9時30分から始まった発表会では、トップバッターを務めた中川根第一小学校を皮切りに、中央小学校、中川根南部小学校、本川根小学校の子どもたちが口をいっぱいに広げ、高らかな歌声をホール全体に響かせました。

合奏では、一つ一つの楽器が奏でる音が美しい調和を見せていました。つめかけた保護者や地域の人たちは、一生懸命歌い演奏する子どもたちに、惜しみない拍手を送っていました。

ある保護者は「うちの子はピアノ伴奏を担当しました。実は数日前につき指をしてしま

まい、演奏は控えた方が良

【各学校の演目・披露順】
●中川根第一小学校
合唱 ありがとうのうた
合奏 Happiness
●中央小学校
合唱 栄光の架け橋
合奏 ラフソディンブルー
●中川根南部小学校
合唱 Well
合奏 Jupiter
●本川根小学校
合唱 歌よありがとう
合奏 クシコス・ポスト

いていましたが、ちゃんと最後までやり通せてよかった。本当に立派でした」と話していました。

それぞれの楽器の奏でる音が調和して曲ができる。合奏の醍醐味です。

